

新全体主義

私達ひとりひとり人間の
中には人格があり、ひとつの人格の
中にも、様々な側面があります
。

私達の人格は、様々な経験の中
で意見を変えたり、時には考え
方まで変えてしまいう事もあり、
時間の経過と共に様々な側面
を見せてくれます。

人格の中には、まだ眠っている
様々な側面があるのです。



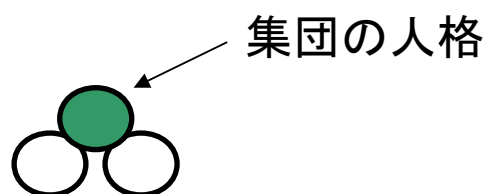
ひとりの人間の中には、ひとつの人格があります。

それでは、ふたりの人間が集まるとどうなるでしょう。

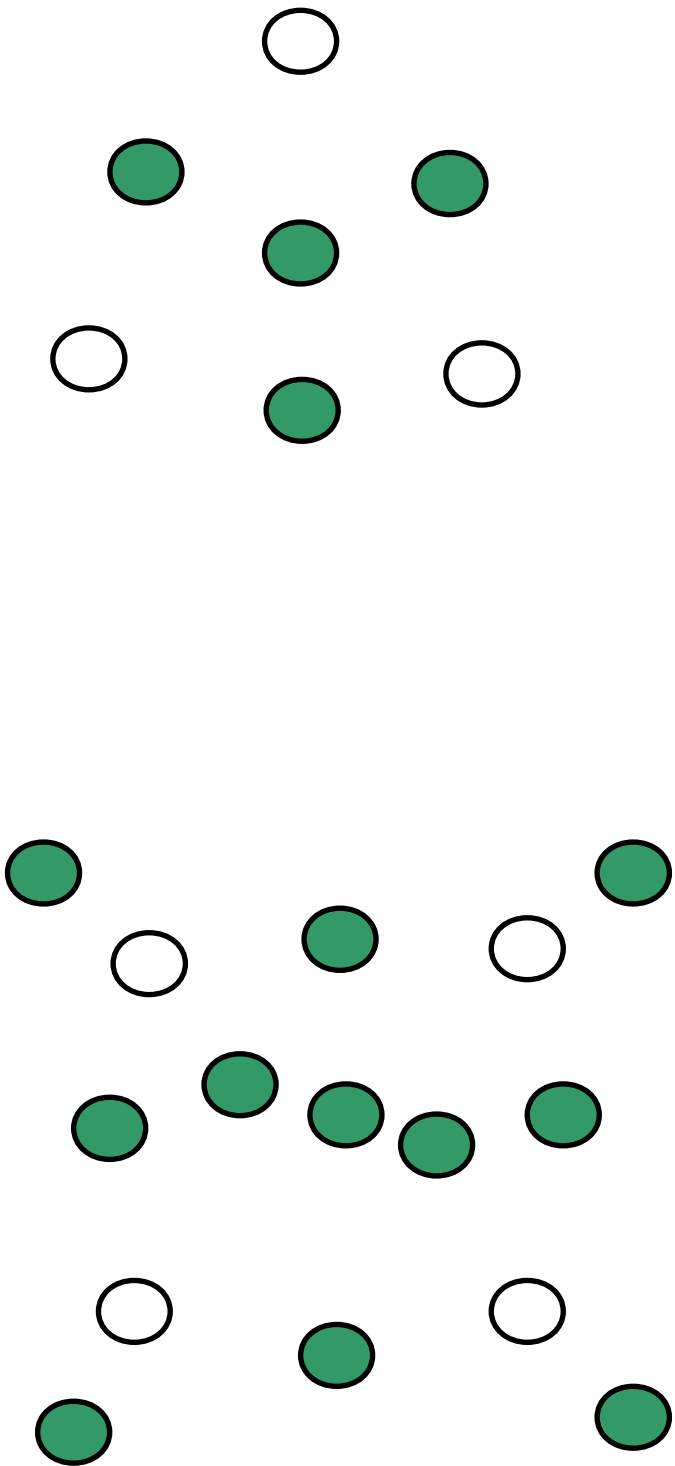
ふたりの人間が集まると、その間には第三の人格（**集団の人格**）が現れます。

集団の人格は、個人の人格とは別の独立した人格と考えた方が良いです。個人の人格がyesとyesでも、集団の人格がnoと答える事もあります。

集団の人格の中にも、個人の人格の中と同じように、様々な側面があるのです。



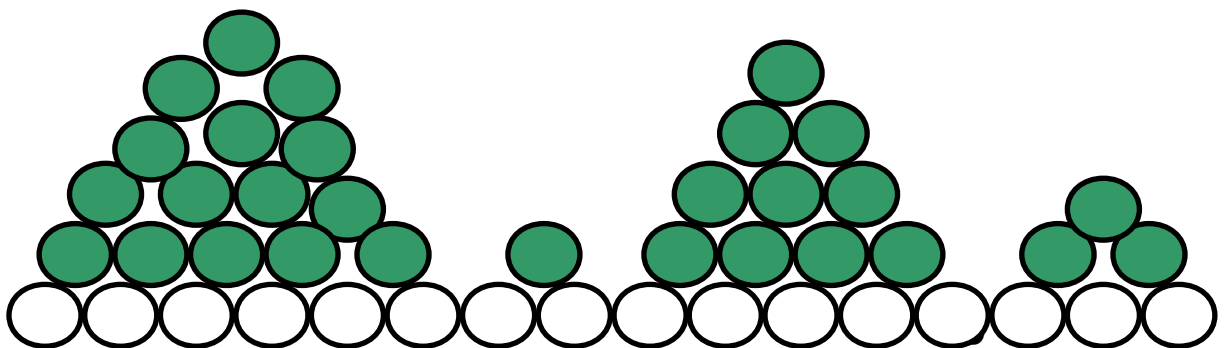
理論的には、3人が集まると七
つの人格、4人が集まると十五
の人格、5人が集まると三十一
の人格が現れる事になります。



実際には膨大な数の集団の人格が存在しているはずですが、単純化の一例として、下記のよ
うなピラミッド型のモデルを使
うと解り易くなると思います。

右から、3人、5人、2人、6人
の4つのグループに別れていま
す。

今は、個人の人格と集団の人格
に色分けされていますが、これ
を例えば、卵が先か鶏が先かで
色分けして、

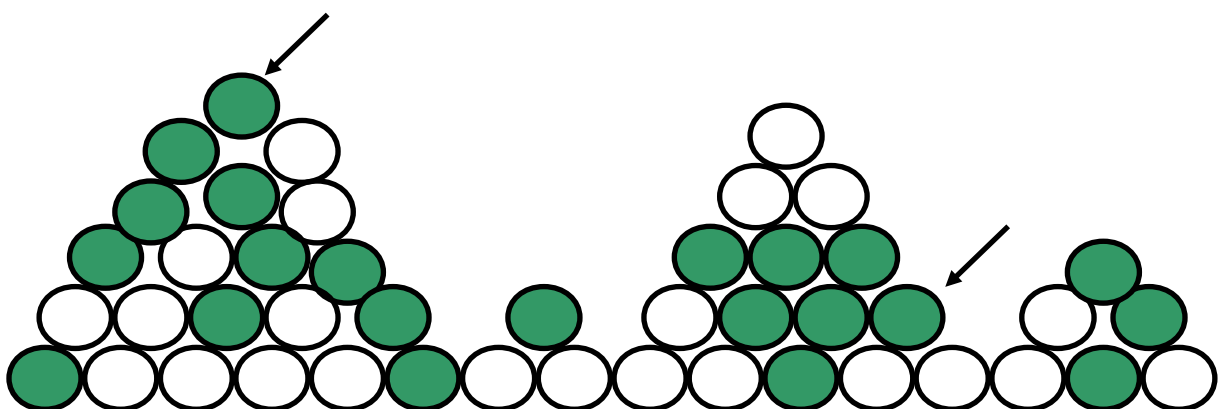


下記のようになつたとしても。

個人の人格だけを見ると1対4
なので、純粹に投票すると白の
圧勝に終わります。

そこで、矢印のグループに出向い
て働きかけを行う事にします。

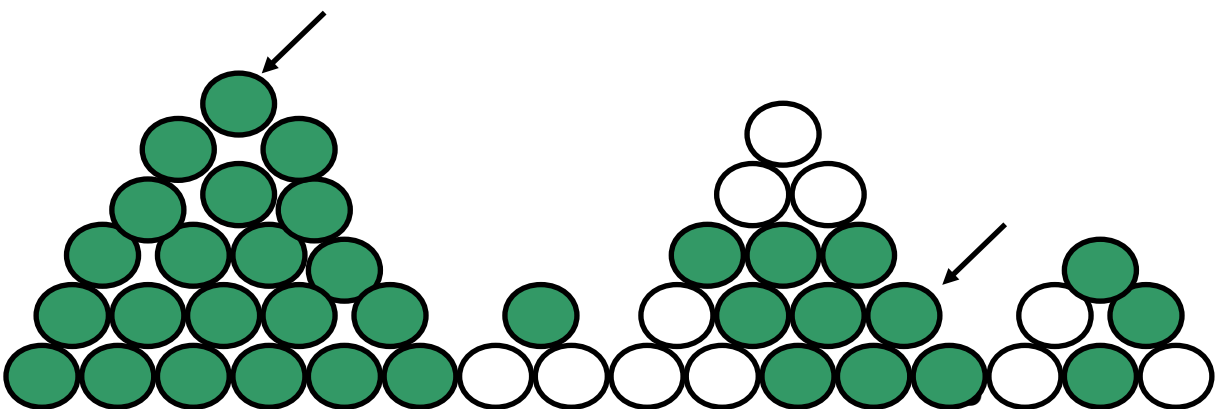
そうすると、



ご覧のように、6対10で緑が逆
転します。もう少し頑張ると、
緑一色に出来ることが解ると思
います。

このように、グループ分けを使
うと、世論の操作がとても行い
易くなります。

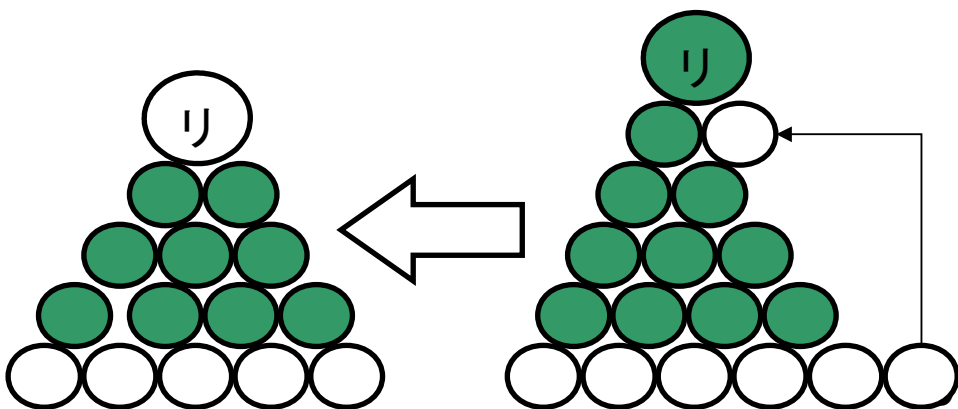
下記のモデルは、グループ内が
フラットな関係になっています
が、これに役職が付くと、少し
複雑になります。



リーダーに任命されたことが、六人の総意（集団の人格）に影響が無いようであれば、フラットなモデルで解釈しても構わないが、任命された事で意見が変わる、若しくは、発言力が変わる時は、基本的には、右図のように、本人の個人の人格と他の五人の総意の間にリーダーとしての人格が現れたと解釈します。

左図は、右図を単純化した表記と見ることができず。完全なる左図のモデルとしては、完全なるトップダウン方式で、リーダーの意見が五人の総意となるパターンと、逆にリーダーが意見を失い、五人の総意がリーダーの意見になるパターンが考えられます。しかし、そのような例は稀である為、基本的には、右図の解釈が隠れていると考えた方が良いでしょう。

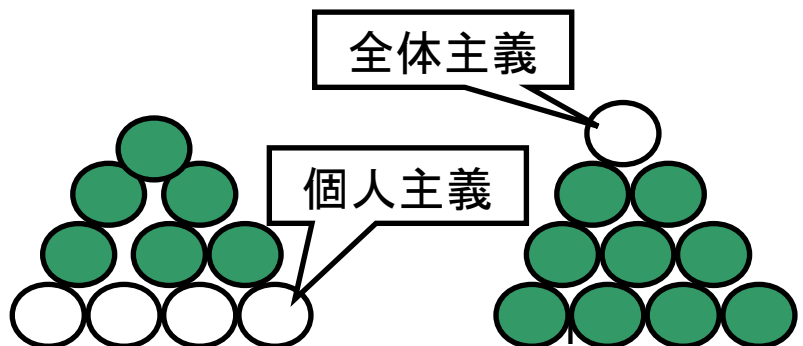
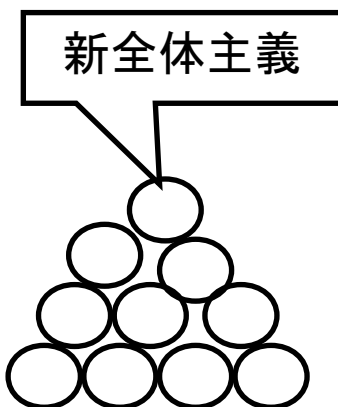
また、最初からリーダーとしての影響力を織り込んで、階級の無いフラットなモデルで表記する方法も有りでしょう。



人々は、全体主義によって多くの個人を犠牲にし、個人主義の自由によって、多くの不幸を生み出してきた。

新全体主義とは、全体における個々人と個人間に発生する関係の総称です。

この考え方を理解することによって様々な枠組みの存在が明確になり、個々人の可能性が広がります。



1、個人の責任を全体に分散し易くなります。

2、全体の問題に対する個人の責任を自覚し易くなります。

3、全体の問題に対して個人の責任を回避し易くなります。

4、自分に有利な枠組みを認識し易くなります。

5、全体を認識することで、協力関係を築き易くなります。

